

京都府農林水産ビジョン（仮称）の検討について

1. 新たな「農林水産ビジョン」の考え方

- セカンドステージ計画期間の最終年度となる「農林水産京カプラン」を見直し、「新たな総合計画」における農林水産分野のビジョンと戦略を具体化
- 現状とすう勢の徹底分析のもと、これまでの政策成果と残された課題、人口減少やグローバル化等の情勢変化を総括した上で、おおむね20年後（2040年）を見据え、①将来展望（目指す姿）を明確にし、②重点戦略（優先施策の展開方向）と、③主要指標（KPI）をセットで提示
- 本ビジョンは、農林漁業者のみならず市町村や団体等の取組のベースとなる共通認識や指針として活用されるとともに、府民の理解と参画を得て、食品事業者や商工業等を含めた「オール京都」体制の原動力として幅広く活用

2. 検討委員会の設置とスケジュール

- ・ 幅広い視点から検討を行うため、**資料2**に基づき「京都府農林水産ビジョン（仮称）検討委員会」を設置
- ・ 検討委員会において、検討分野ごとに先進的な実践者や有識者（2名程度）を招へいし、議論・検討を進めることとし、年度内におおむね4回開催
- ・ 来年度以降、具体のビジョン（計画）づくりに本格的に着手し、パブリックコメントや府議会への報告を経て来年度中に策定・公表

【参考】今後のスケジュールと各回の検討テーマ

（※現時点での想定であり、今後変更があり得る。）

第1回(30年9月)	ゴールと進め方の確認、新たなビジョンの視点等 (自由討議)
第2回(30年11月)	農業、畜産業
第3回(31年1月)	林業、水産業
第4回(31年3月)	地域づくり、ブランド戦略
第5回(31年4～5月)	ICT、海外展開、各種計画の検討状況と 骨子案
第6回(31年夏)	中間案
第7回(31年秋)	パブリックコメント報告 ・ 最終案